

指定期間中間モニタリング
(平成 30 年度)

施設名称	佐倉市 市営自転車駐車場 (12 施設)
施設概要	市内の 6 駅周辺 12 か所の市営自転車駐車場
施設の 設置目的	市内駅周辺の自転車等の駐車秩序を確立し、道路交通の円滑化及び自転車等利用者の利便性を図る
指定管理者	一般社団法人 日本駐車場工学会
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
委託料	0 円 (指定期間総額)
市所管課	土木部道路維持課
評価対象期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

1 項目別評価

評価	説明
S（優良）	要求される水準を上回り、特に良い成果が認められる。
A（適格）	要求される水準を満たしている。
B（概ね適格）	要求される水準を満たしているが、一部問題点が認められる。
C（不適格）	要求される水準を下回り、問題点が認められる。
－（該当なし）	該当する事例がない。または、評価することができない。

（1）【公の施設の平等利用等に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
基本事項	関係法令等を理解し、遵守したか。	A	A
	必要な資格免許が取得されていたか。	A	A
① 平等利用	全体の事業内容に偏りはなかったか。	A	A
	特定の個人や団体が優遇されることはなかったか。	A	A
② 公共性	公の施設を運営するにふさわしい理念により運営していたか。	A	A
	現状分析・課題認識は適切であったか。	A	A
	公の施設の設置目的や市の施策を理解した事業内容であったか。	A	A
	管理運営における環境への配慮は十分であったか。	A	A
	利用者の要望や意見を把握し、的確に対応したか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<p>経営方針として、公市営自転車駐車場は放置自転車対策システムの一環として設けられた施設と受け止めて事業運営を行っております。また、料金の徴収は、自転車等を整理するための手数料であると理解しております。利用者には定期利用/一時利用時に公平性及び受益者負担の観点から手数料を徴収させていただいております。</p> <p>無人管理での一時利用料金の徴収は料金ポストにて行っております。平成 25 年度当時は料金ポストへの悪戯も発生したが、料金ポストの改善などでその問題も解消されております。30 年度では料金ポストでの回収金額が一時料金の 33%（27 年度までは 25%前後）となっております。また、支払依頼札での回収率は 90%～95%と高いレベルにあります。</p>			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>現在は料金ポストでの回収率が高い状況にあると思います。今後の課題として有人管理から巡回管理に切替えた場合での一時利用料金の回収についても検討したいと思います。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>料金ポストでの高い回収率を維持できていることで、有人管理時間の削減が行えていると考えられます。今後も高い回収率を維持しながらも、不正利用者に対する対応を強化していくことを市として望みます。</p>			

(2)【公の施設の効用発揮・経費縮減に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 効用発揮	施設の特徴を活かし、施設の価値を高めることができたか。	A	A
	サービスの質の向上のための取り組みは効果的であったか。	A	A
	利用拡大の方策は効果的であったか。	A	A
	施設の情報発信は工夫されていたか。	A	A
	企画事業・独自事業の実施方針や内容は適当であったか。	A	A
② 経費縮減	収支計画にのっとり、安定して経営できたか。	A	A
	運営の効率化が効果的になされたか。	A	A
	予定外の収入減・経費増への対応は的確であったか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<p>28年度には経費削減を目的に管理時間を平日：8時間（午前4時間、午後4時間）、土曜・休日：午前4時間を平日：6時間（午前3時間、午後3時間）、土曜・休日：午前3時間に変更しました。有人管理時間の削減効果としては、27年度比で445万円の現場人件費削減となり、健全な事業環境が構築されました。</p> <p>28年度には有人管理時間を短くしたことで、利用者への情報発信機能低下を防ぐため、佐倉市営自転車駐車場のホームページ（HP）を開設しました。HPでは各駐輪場の満空情報、利用の手引き、利用者アンケート、レンタサイクルなどの情報が掲載されております。検索性も増加しており、特に事前年間受付時期（2019年2月から2019年4月）のアクセス件数が約2,000件、閲覧数が約5,000件の実績となっております。</p> <p>29年度はユーカリが丘北口を閉鎖し、ユーカリが丘上座跨線橋下に統合し、利用者の利便性向上と管理工数の削減を図りました（28年度比で162万円の削減）。統合する前はユーカリが丘上座跨線橋下は満車状態であったので、放置自転車保管場所を志津南口に移設し、収容台数を増やすことでユーカリ北口との統合が実現しました。また、同時にユーカリが丘上座跨線橋下の利用料金を屋内料金から半屋内料金（屋内料金×0.75）に変更しました。</p>			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>少子高齢化による利用者の減少による減収と最低賃金UPによる現場人件費の増加という、事業環境の変化に対応した事業運営ができたと思っております。これは佐倉市のご指導/ご協力と現場職員の協力/努力があったから実現したものと感謝しております。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>利用料金の減収に対して、経費削減を行い経営努力が見られます。人件費を削減するために、勤務時間を削減しましたが、そのことでサービスの質が低下しないように工夫もなされています。（ホームページの開設など）</p> <p>今後も利用料金の減収が予想されるが、経費削減を進めつつも、サービスの質を維持した経営を期待します。</p>			

(3) 【公の施設の管理運営の安定性に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 物的能力	団体の経営が安定していて、施設管理を継続的・安定的に行うことができたか。	A	A
	施設の維持管理、備品の管理は適切に行われたか。	A	A
	安全管理・危機管理への取り組みは適当であったか。	A	A
	個人情報の保護、情報公開に対し十分配慮し、必要な措置を講じたか。	A	A
	第三者への委託や運営協力体制は適当であったか。	A	A
② 人的能力	団体本部との役割分担や責任体制は明確かつ適当であったか。	A	A
	適切な人員配置・勤務体制がとられていたか。	A	A
	人件費や労働条件の設定において、職員への配慮はなされていたか。	A	A
	職員の教育研修体制は適当であったか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<p>自転車等の盗難犯罪への抑止効果を目的に横断幕などを掲示してまいりました。平成 26 年度の盗難被害内容で 70%が施錠なしという結果を受けて、平成 27 年度以降は施錠の励行に注力しました。</p> <p>⇒盗難被害件数の推移：26 年度 40 件、27 年度 39 件、28 年度 26 件、29 年度 22 件、30 年度 9 件</p> <p>28 年度は個人情報の管理基準を佐倉市と協議し、取扱場所、保管方法、保管年数、廃棄基準などを見直しました。まず、保管できる施錠できる書棚の整備を行いました。基本的に現場での個人情報保管は 1 年 or2 年と制限し、毎年 6 月頃に廃棄処分することにしました。</p> <p>研修は毎年一回実施しており、日常業務での問題や課題などをグループ討議行うなどで問題の共有化を図っております。</p>			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>自転車駐車場の盗難問題は永遠の課題と捉え取り組んでおります。一時的に被害件数が減っても油断なく犯罪抑止活動を行いたいと思います。</p> <p>個人情報の管理は 29 年度から上述の保管方法や廃棄基準にもとづいて、個人情報の管理を実施しております。</p> <p>自転車駐車場の管理業務は接客機会が多く、料金を徴収するなど細かいルールがあり、マニュアルなどで覚えることが多々あります。したがって、管理員は佐倉市営自転車駐車場の人材として、指定管理会社が変わっても継承すべきものと考えております。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>盗難被害件数は年々減少しており、様々な施策の効果が出ていると考えられます。膨大な量の個人情報を管理しているので、今後も徹底した管理体制を維持してもらいたいです。</p> <p>また、利用者アンケートでは管理人に対する好意的な意見が多く見られました。このことから教育や研修がしっかりと行き届いていると考えられます。</p>			

(4)【公の施設の設置目的の達成に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
駐車の秩序の確立	駅前の放置自転車台数は減少したか	A	A
	駐車場の不正利用は行われていないか	A	A
利便性の向上	利便性向上のための工夫がなされているか	A	S
	利用者からの反応はどうか	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<p>駅前の放置自転車を減らすために駐車場の積極的利用を呼び掛けており、駅前の放置自転車は年々減少しております。また、不正利用防止に関しては管理員が日々駐車場内の見回りをし、不正利用者に対しては一時利用を活用するように指導しております。管理人不在の際は料金の支払いを料金ポストにてお願いしておりますが、支払依頼札での回収率は90%~95%と高いレベルにあります。</p> <p>利便性の向上については照明のLEDへの交換、ラックを撤去し駐車しやすいスペースの確保などを行いました。</p>			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>利用者からのアンケートにおいてはラックが古くなっている、使いづらい等の意見が目立ちますので、ラックを撤去し平置きスペースを増やすなどの対応を検討してまいります。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>駅前の放置自転車台数減少の背景には自転車利用者の減少も考えられますが、駐車場利用の呼びかけの効果も出ていると考えられます。不正利用に対しても毅然とした対応を取れており、駐車場の秩序が保たれているものと考えています。</p> <p>また、LED化による省エネ化と利用者の安心感の両立、自転車形状の多様化に対応したラック撤去など、駐車場管理のノウハウを活用して施設の利便性を向上させる取り組みを行っています。</p> <p>今後も現在の高い水準で満足せずに、更なる改善案を模索していただきたいと思います。</p>			

(5)【その他取り組み（参考）】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
参考項目	障害者、高齢者の雇用や男女平等参画に対する配慮がなされたか。	A	A
	市民との協働による管理運営が行われたか。	A	A
	地域の活性化につながる取り組みがなされたか。	A	A
	地域雇用が行われたか。	A	A
	収益（剰余金）が有益に利用されたか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<p>管理員は地域高齢者の雇用の機会と位置付けて、原則として市民の方を採用しており、全員佐倉市民で構成しております。</p> <p>剰余金については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 管理員に福利厚生費（36名分、年間48万円）として活用しております。この一時金は各拠点で数回/年、懇親会などに活用してリフレッシュを図っております。 ② 28/29年度には、個人情報収容する書棚を備品費（12個、24万円）に活用しました。 ③ 29年度には、佐倉市営自転車駐車場のホームページ制作費（40万円）に活用しました。 			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>管理員の定着率が高く、定年退職年齢を78歳以上（毎年9月末時点）と定めて運用しておりますが、全体的に管理員の高齢化が進んでおります。若い人との入替えが必要な職場もあります。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>管理員が全員佐倉市民であり、市内の高齢者雇用促進に貢献しています。定年退職年齢が78歳なので、今後も管理員の健康状態をしっかりと把握しながら運営することを望みます。</p> <p>また、剰余金でホームページを制作するなどし、利便性の改善にも積極的な姿勢が見られます。</p>			

2 総合評価及び今後の課題

[意見記述欄] 総合評価及び今後の課題	
指定管理者	<p>これまでは、過去の延長線上の思考で、無難に事業運営できたと思います。残された2年間は指定管理期間で中長期的な視野での管理方法を佐倉市と一緒に模索したいと考えおります。</p> <p>これまで、佐倉市自転車駐車場の管理手法として機械管理形式を避け、高齢者の雇用機会として人的管理体制で推進してまいりました。一時利用料金の徴収方法では券売機の設置も考えられますが、料金ポスト形式でもお客様とのトラブル発生が殆どありません。料金ポストには維持管理費や故障トラブルが発生しないというメリットがあり、利用者にも定着しております。</p>
市	<p>非常に厳しい状況の中、黒字となっており経営努力が伺えます。また、今後も厳しい状況が続くと予想されるが、更なる経費削減案が具体的に構想されています。</p> <p>月例報告時などの提案では、一般論的な提案ではなく、佐倉市の状況を分析した上で佐倉市に合った提案をしてくれていると感じます。</p> <p>また、駅前の放置自転車台数も減少傾向にあり、施設の設置目的である『市内駅周辺の自転車等の駐車場の秩序を確立し、道路交通の円滑化及び自転車等利用者の利便性を図る』に沿った運営が適切に行われています。</p>